

チーム名：MI<sup>3</sup> エントリー番号：6-2 アイデア名：イラぼち

#### ■ 要旨（10.5 pt で 300 文字以内）

イライラしたとき、ペンのノック部分をカチカチしたこと、ありませんか？  
「イラぼち」は、あなたのそんなイライラを測定し、可視化・共有してくれます。

イライラしたら、まずは青いボタンをぼちっぼちっぼちっ！  
ボタンの押す強さ速度や回数によって、イライラ度合いを計測します。

あなたのイライラ度によって、あなただけの動物型アバターが、成長していきます。  
たまに、癒しの言葉や癒しアイテムも紹介してくれます。

さらに、ランキング機能やアイテム機能を兼ね備えることで、友達との交流が図れる  
ほか、Twitter連携機能で、あなたのイライラをアバターが自動でつぶやいてくれます。

楽しくイライラ！を目指すアプリ、それが「イラぼち」です。

#### ■ 内容（10.5 pt で8000文字以内）

##### ・背景

このコンテストへの出願にあたり、まず私たちは、なぜ「青い」ボタンなのかを考えました。「青」から連想されるものとして、空、海、水といった自然の色に加え、涙、憂鬱といったネガティブなものが挙げられます。

この「青」が持つネガティブな側面に注目しつつ、ボタンを押す＝人間の自発的行動と捉えたうえで、「青いボタン＝イライラの意思表示」と定義づけました。

現代社会に生きる多くの人は、大きなストレスを抱えています。例えば、憂鬱なつぶやきをTwitterに書き込んだ「うついったー」が、そこかしこで見られるのも、そのひとつの証拠と言えます。こうした鬱屈したエネルギーを、何らかのカタチで楽しめないか。

こうした思いがカタチになったのが、「イラぼち」です。

## ・デバイス

「イラぼち」は、携帯電話・スマートフォンでの利用を想定しています。  
ただし、Bluetooth機能を搭載した端末が望ましいです。

また、専用デバイスとして「イラぼち・専用ペン」を用意します。

## ・機能

「イラぼち」は、大きく分けて、次の3つの機能を持っています。

1. イライラの測定
2. イライラの視覚化
3. イライラの共有

ここからは、それぞれの機能の特徴を見ていきます。

### 機能1：イライラの測定

#### ☆ 青いボタン

ペンのノック部分に、青いボタンを搭載した専用の端末を用意します。（図1）

この端末では、ボタンをクリックしたタイミング（速さ）、回数、時間、位置を測定し、内部メモリに保存します。保存したデータは、bluetooth接続にて携帯端末と同期します。

#### ☆ アプリケーション側での処理

測定したデータは、携帯端末で読み込みます。  
端末に読み込まれた、ボタンクリックのタイミング（速さ）、回数、時間は、記録日時・平均値・最大値・最小値などを計算して、記録します。



図1

## 機能2：イライラの視覚化

### ☆ 動物型アバター

アプリケーション開始にあたって、動物型のアバター（図2）が自動で設定されます。このアバターは自然に成長しますが、青いボタンをクリックした回数などによって、成長の度合いに変化が生じます。

具体的には、測定されたデータをもとに、イライラの度合いをポイント化し、（イライラするほど、ポイントが貯まる。）そのポイントによって、成長度合いが変化します。



図2

### ☆ イベント

また、アバターが定期的にユーザに話しかけてくれたり、アバター（動物）のイライラエピソードが聞けるといったイベントが発生します。

例：「またイライラしてんのか？まあ、これでも食べよ。」と言って、ユーカリを差し出すパンダ型アバター。

## 機能3：イライラの共有

イライラの共有では、Twitter や facebookといったソーシャル・ネットワーキング・サービスと「イラぼち」を連携させます。

### ☆ ランキング機能

ユーザのイライラ度を、ユーザの友達（Twitterやfacebook上の友達も連携）と共有し、ランキングをつけていきます。例えば、今週一番イライラ度が高かった人には、イライラボーナスポイントが付与され、アバターの成長に影響したり、特別イベントが発生します。

## ☆ Twitter自動投稿機能

ユーザのイライラをアバターが代わりにつぶやいてくれます。ただの「うつITTER」は敬遠されますが、アバターがつぶやいた場合は、印象が違ってきます。

設定画面からtwitterアカウントと連携設定を行うと、自動的・定期的につぶやかれます。

## ☆ 位置共有機能

ユーザがイライラした場所を地図上に表示することで、共有出来ます。みんながイライラしている場所（イライラスポット）を、確認することが出来ます。

## ☆ アバター間のコミュニケーション

イライラしているアバターに対して、別のアバターが、慰めの言葉をかけます。

例：「おまえ、またイライラしてんのかよ。頑張れよ。」

## ・ ビジネスモデル

## ☆ アプリ内広告

癒しアイテムを、アバターが紹介してくれるイベントが発生します。そのなかで、商品を宣伝することが出来ます。

・ユーザインターフェース

1. ログイン画面 / アバター画面



図3



図4

ログイン画面（図3）では、青いボタンを「ぼち」することが出来るようになってい  
ます。また、ボタンの長押しで、アバター画面に移動します。

アバター画面（図4）では、「今日のイライラデータ」を見ることが出来ます。  
イライラして青いボタンをクリックした回数や、毎分ごとの最高クリック回数などです。

さらに、右下のピン付き青いボタンをクリックすると、「イライラスポットガイド」の  
ページに移動します。

### 3. イライラスポットガイド



図5

「イライラスポットガイド」（図5）では、全国のユーザがイライラしたスポットを、地図上に表示してくれます。これにより、みんながどういうところでイライラしているか共有することができます。

#### ・その他

設定画面では、Twitter連携機能や、bluetooth接続設定などが出来ます。Twitter連携は、つぶやく日時の間隔なども設定することが可能です。